

令和2年における木質粒状燃料（木質ペレット）の生産量等について

1 木質粒状燃料の生産量の公表について

農林水産省及び林野庁は、毎年、特用林産物の主要な品目について生産量等の調査（特用林産物生産統計調査）を行い、生産動向を公表しています。今回林野庁は、同調査のうち、「木質粒状燃料」の生産量等について公表するものです。

2 木質粒状燃料の生産動向について

令和2年における木質粒状燃料の生産量は14.9万トンで、対前年比101.0%となりました。

一方で工場数は137工場で、前年から10工場の減少となりました。

用途は、燃料用がほとんどを占め（構成比97.4%）、14.5万トンとなりました。

また、原料は、丸太・林地残材が7.8万トン（構成比52.3%）、製材工場等残材が5.1万トン（構成比34.3%）、建設発生木材が1.8万トン（構成比12.4%）となりました。

原料の丸太・林地残材の樹種別の内訳は、スギが62.5%、マツが26.6%、ヒノキが9.2%となりました。

詳細は添付資料を御覧ください。

<添付資料>

別添1 木質粒状燃料の用途別生産量内訳等(PDF：79KB)

別添2 木質粒状燃料の原料入手区分別生産量及び含水率(PDF：105KB)

別添3 丸太・林地残材から生産した樹種別生産量(PDF：107KB)

参考資料(PDF：692KB)

【お問合せ先】

林政部木材利用課

担当者：木質バイオマス推進班山下、高田

代表：03-3502-8111（内線6121）

ダイヤルイン：03-6744-2297

別添 1

木質粒状燃料の用途別生産量内訳等

木質粒状燃料

(単位：生産量＝トン、生産者数＝人、工場数＝工場)

都道府県	生産量	用途別生産量内訳				生産基盤	
		工業用	燃料用	農業用	その他	生産者数	工場数
01北海道	14,517.6	-	14,509.1	-	8.5	49	17
02青森	2,110.2	-	2,110.2	-	-	11	3
03岩手	3,572.3	-	1,620.1	1,952.2	-	10	5
04宮城	1,396.6	-	1,396.6	-	-	8	4
05秋田	5,407.0	-	5,407.0	-	-	13	6
06山形	3,635.4	-	3,635.4	-	-	10	6
07福島	12,031.5	151.0	11,880.5	-	-	23	5
08茨城	824.0	-	824.0	-	-	11	4
09栃木	-	-	-	-	-	-	-
10群馬	1,362.0	-	1,362.0	-	-	5	3
11埼玉	x	x	x	x	x	5	2
12千葉	-	-	-	-	-	-	-
13東京	x	x	x	x	x	4	1
14神奈川	-	-	-	-	-	-	1
15新潟	3,066.8	-	2,906.8	-	160.0	26	7
16富山	1,253.4	-	1,253.4	-	-	7	3
17石川	845.3	451.0	358.3	36.0	-	12	6
18福井	982.6	-	982.6	-	-	8	4
19山梨	1,525.2	-	1,525.2	-	-	7	4
20長野	5,283.8	-	5,283.8	-	-	10	4
21岐阜	1,668.0	-	1,608.0	-	60.0	11	5
22静岡	2,115.0	-	2,115.0	-	-	4	1
23愛知	97.3	-	97.3	-	-	2	1
24三重	159.2	-	159.2	-	-	5	1
25滋賀	78.9	-	78.9	-	-	6	2
26京都	x	x	x	x	x	7	2
27大阪	-	-	-	-	-	-	-
28兵庫	254.3	-	254.3	-	-	11	3
29奈良	2,932.0	-	2,932.0	-	-	5	3
30和歌山	29.2	-	29.2	-	-	3	2
31鳥取	-	-	-	-	-	-	-
32島根	121.0	-	121.0	-	-	4	2
33岡山	25,847.1	70.0	24,888.8	800.0	88.3	5	2
34広島	110.0	-	110.0	-	-	3	3
35山口	x	x	x	x	x	4	2
36徳島	536.0	-	536.0	-	-	8	3
37香川	-	-	-	-	-	-	-
38愛媛	6,627.6	-	6,627.6	-	-	8	3
39高知	4,626.8	-	4,626.8	-	-	10	5
40福岡	37.5	-	37.5	-	-	4	1
41佐賀	40.0	-	40.0	-	-	1	1
42長崎	-	-	-	-	-	-	-
43熊本	936.2	-	936.2	-	-	15	3
44大分	-	-	-	-	-	-	-
45宮崎	24,766.1	-	24,766.1	-	-	44	6
46鹿児島	-	-	-	-	-	-	-
47沖縄	x	x	x	x	x	17	1
R2合計	148,725.8	672.0	144,930.2	2,806.9	316.8	396	137
R1実績	147,321.2	115.8	142,453.8	2,709.4	2,042.2	390	147
対前年比	101.0%	580.3%	101.7%	103.6%	15.5%	101.5%	93.2%

(注1) 端数処理の関係上、各項目の数値の和が合計値と一致しないことがある。

(注2) 調査対象数が2工場以下の都道府県については、調査結果の秘密保護の観点から、「x」表示としている場合がある。

別添 2

木質粒状燃料の原料入手区分別生産量及び含水率

都道府県	計 トン	丸太・ 林地残材 トン	製材工場 等残材 トン	建設発生 木 材 トン	その他 トン	含水率 %
01北海道	14,517.6	13,807.1	630.5	80.0	-	9.0
02青森	2,110.2	1,523.2	385.2	201.8	-	10.0
03岩手	3,572.3	-	3,572.3	-	-	10.0
04宮城	1,396.6	-	1,396.6	-	-	6.0
05秋田	5,407.0	1,638.0	3,769.0	-	-	8.0
06山形	3,635.4	3,141.3	494.1	-	-	9.0
07福島	12,031.5	11,972.0	59.5	-	-	9.0
08茨城	824.0	680.9	125.1	18.0	-	10.0
09栃木	-	-	-	-	-	-
10群馬	1,362.0	1,257.0	95.0	10.0	-	9.0
11埼玉	x	x	x	x	x	14.0
12千葉	-	-	-	-	-	-
13東京	x	x	x	x	x	10.0
14神奈川	-	-	-	-	-	-
15新潟	3,066.8	2,722.1	344.7	-	-	8.0
16富山	1,253.4	1,092.6	156.9	-	3.9	10.0
17石川	845.3	90.0	748.8	6.5	-	11.0
18福井	982.6	33.3	784.0	-	165.3	10.0
19山梨	1,525.2	790.0	735.2	-	-	9.0
20長野	5,283.8	5,203.8	80.0	-	-	9.0
21岐阜	1,668.0	300.0	1,368.0	-	-	9.0
22静岡	2,115.0	2,115.0	-	-	-	7.0
23愛知	97.3	-	97.3	-	-	10.0
24三重	159.2	55.0	104.2	-	-	8.0
25滋賀	78.9	-	18.3	3.2	57.4	10.0
26京都	x	x	x	x	x	8.0
27大阪	-	-	-	-	-	-
28兵庫	254.3	63.3	191.0	-	-	9.0
29奈良	2,932.0	1.7	2,930.3	-	-	11.0
30和歌山	29.2	-	25.2	-	4.0	17.0
31鳥取	-	-	-	-	-	-
32島根	121.0	12.4	108.6	-	-	8.0
33岡山	25,847.1	16.0	25,831.1	-	-	6.0
34広島	110.0	4.0	106.0	-	-	8.0
35山口	x	x	x	x	x	8.0
36徳島	536.0	38.0	498.0	-	-	10.0
37香川	-	-	-	-	-	-
38愛媛	6,627.6	6,297.6	330.0	-	-	8.0
39高知	4,626.8	1,667.2	2,959.6	-	-	10.0
40福岡	37.5	0.0	37.5	-	-	8.0
41佐賀	40.0	40.0	-	-	-	10.0
42長崎	-	-	-	-	-	-
43熊本	936.2	-	686.2	250.0	-	14.0
44大分	-	-	-	-	-	-
45宮崎	24,766.1	22,085.7	1,444.4	-	1,236.0	10.0
46鹿児島	-	-	-	-	-	-
47沖縄	x	x	x	x	x	12.0
R2合計	148,725.8	77,837.2	51,020.5	18,401.5	1,466.6	-
R1実績	147,321.2	63,293.6	59,385.6	24,223.3	418.7	
対前年比	101.0%	123.0%	85.9%	76.0%	350.3%	

(注1) 端数処理の関係上、各項目の数値の和が合計値と一致しないことがある。

(注2) 調査対象数が2工場以下の都道府県については、調査結果の秘密保護の観点から、「x」表示としている場合がある。

別添3

(木質粒状燃料) 丸太・林地残材から生産した樹種別生産量

都道府県	樹種	生産量 トン	樹種	生産量 トン	樹種	生産量 トン	樹種	生産量 トン	生産量 計 トン
01北海道	-	-	-	-	マツ	13,804.0	-	3.1	13,807.1
02青森	スギ	1,204.6	-	-	-	-	広葉樹	318.6	1,523.2
03岩手	-	-	-	-	-	-	-	-	-
04宮城	スギ	-	-	-	-	-	その他	-	-
05秋田	-	1,556.0	-	-	-	82.0	-	-	1,638.0
06山形	スギ	516.0	-	-	マツ	2,618.0	広葉樹	7.3	3,141.3
07福島	スギ	11,814.5	-	-	マツ	157.5	-	-	11,972.0
08茨城	スギ	401.2	ヒノキ	221.4	-	-	その他	58.3	680.9
09栃木	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10群馬	スギ	892.0	-	-	マツ	46.0	広葉樹	319.0	1,257.0
11埼玉	-	x	-	x	-	x	その他	x	x
12千葉	-	-	-	-	-	-	-	-	-
13東京	-	x	-	x	-	x	-	x	x
14神奈川	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15新潟	スギ	2,722.1	-	-	-	-	-	-	2,722.1
16富山	スギ	1,092.6	-	-	-	-	-	-	1,092.6
17石川	スギ	86.0	ヒノキ	2.0	マツ	2.0	-	-	90.0
18福井	スギ	33.3	-	-	-	-	-	-	33.3
19山梨	スギ	73.0	ヒノキ	148.0	マツ	94.7	その他	474.3	790.0
20長野	スギ	1,250.8	ヒノキ	70.8	マツ	3,882.2	-	-	5,203.8
21岐阜	スギ	150.0	ヒノキ	150.0	マツ	-	-	-	300.0
22静岡	スギ	845.0	ヒノキ	1,270.0	-	-	-	-	2,115.0
23愛知	-	-	-	-	-	-	-	-	-
24三重	スギ	41.0	ヒノキ	6.9	-	-	その他	7.1	55.0
25滋賀	-	-	-	-	-	-	-	-	-
26京都	スギ	x	ヒノキ	x	-	x	その他	x	x
27大阪	-	-	-	-	-	-	-	-	-
28兵庫	スギ	18.0	ヒノキ	26.0	-	-	その他	19.3	63.3
29奈良	-	-	-	-	-	-	広葉樹	1.7	1.7
30和歌山	スギ	-	ヒノキ	-	-	-	-	-	-
31鳥取	-	-	-	-	-	-	-	-	-
32島根	スギ	12.4	-	-	-	-	-	-	12.4
33岡山	-	-	-	-	-	-	広葉樹	16.0	16.0
34広島	-	-	-	-	-	-	広葉樹	4.0	4.0
35山口	スギ	x	ヒノキ	x	-	x	-	x	x
36徳島	スギ	38.0	ヒノキ	-	マツ	-	-	-	38.0
37香川	-	-	-	-	-	-	-	-	-
38愛媛	スギ	5,205.7	ヒノキ	1,091.9	-	-	-	-	6,297.6
39高知	スギ	1,184.3	ヒノキ	482.9	-	-	-	-	1,667.2
40福岡	-	-	-	-	-	-	-	-	-
41佐賀	-	38.0	-	2.0	-	-	-	-	40.0
42長崎	-	-	-	-	-	-	-	-	-
43熊本	-	-	-	-	-	-	-	-	-
44大分	-	-	-	-	-	-	-	-	-
45宮崎	スギ	18,866.3	ヒノキ	3,219.4	-	-	-	-	22,085.7
46鹿児島	-	-	-	-	-	-	-	-	-
47沖縄	-	x	-	x	-	x	-	x	x
R2合計	スギ	48,666.8	ヒノキ	7,145.9	マツ	20,686.4	広葉樹 ・その他	1,338.1	77,837.2
R1実績	スギ	38,113.6	ヒノキ	5,139.9	マツ	18,601.6	その他 ・広葉樹	1,438.5	63,293.6
対前年比		127.7%		139.0%		111.2%		93.0%	123.0%

(注1) 端数処理の関係上、各項目の数値の和が合計値と一致しないことがある。

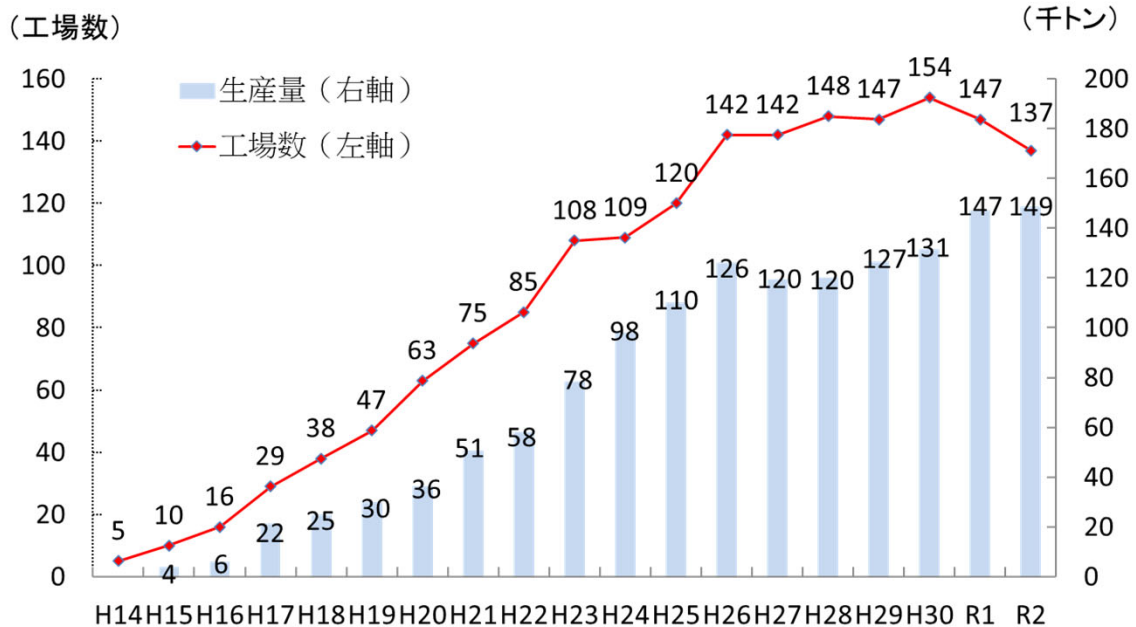
(注2) 「丸太・林地残材から生産した樹種別生産量」について、複数の樹種を1項目で回答している場合は、主たる樹種へ計上している。

(注3) 調査対象数が2工場以下の都道府県については、調査結果の秘密保護の観点から、「x」表示としている場合がある。

【参考資料】

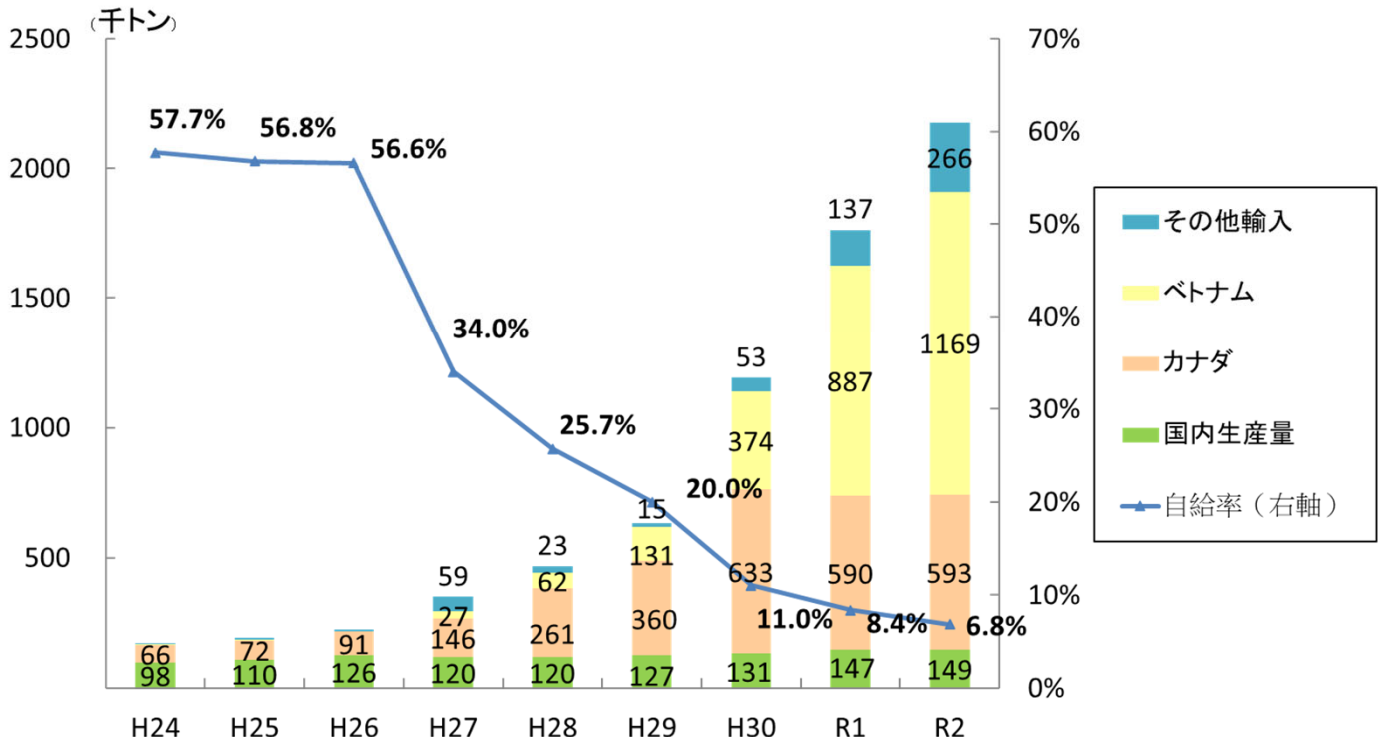
1. 木質粒状燃料(木質ペレット)生産量及び工場数の推移

- 令和2年における木質粒状燃料(木質ペレット)の生産量は、148,726トン(前年比1,405トンの増)。
- 令和2年における木質粒状燃料(木質ペレット)の工場数は、137(前年比10工場の減)。



2. 木質ペレットの輸入量・自給率の推移

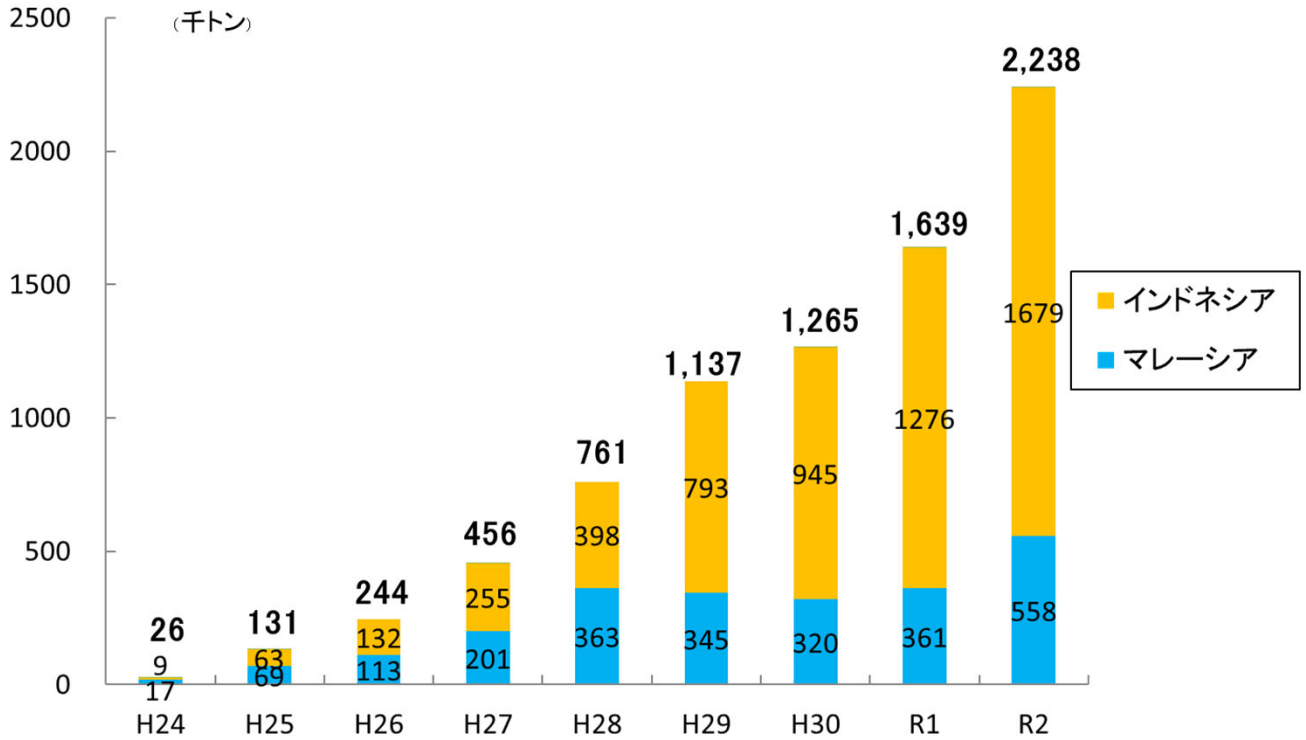
- 令和2年における木質ペレットの輸入量は、前年比25.7%増の202.8万トン。
- 木質ペレットの自給率は、前年比1.6ポイント減の6.8%へ下落。
- 主にベトナムからの輸入が増加しており、その他ではタイ、マレーシアからの輸入が増加傾向。



※輸入量は「貿易統計」における木質ペレット(関税品目コード4401.31.000)の合計。

3. PKSの輸入量の推移

- 木質ペレットの代替燃料として利用されるPKS(ヤシ殻)の輸入量は増加傾向を維持。
- 令和2年におけるPKS輸入量は、前年比36.5%増の223.8万トン。
- 主な輸入先国はインドネシアとマレーシア。



※「貿易統計」におけるパーム油かす及びパーム核油かす(関税品目コード2306.60.000)の合計。